

ラッキョウのカルテック施肥例

(10アール当り)

時期	方法	資材
	なるべく早い時期に、同時に散布してなるべく深耕します。 (植付けまでに一ヶ月以上おいて下さい)	ラクトバチルス 600g …通気性・保肥性のよい、肥沃な土を作ります。 堆厩肥 500kg (以上) ※肥切れしにくく安定した地力を作るために投入します。ただし好気性分解により炭化した「完熟堆肥」や、通気不足による還元反応は土をアルカリ性にして白色疫病の原因となります。また分解が悪いとネダニが増えますので、注意して下さい。 硫安 20kg (もし通常の複合肥料なら、チッソ成分4kg程度) ※このチッソは後にジワジワと効いて来る地力を作るものです。植付け時には 土壌EC: 0.2以下 に落ち、初期に直接のチッソ肥効が少ないことが、乾腐病対策にも大切です。 ※砂地や痩せ地で堆厩肥が少ない場合は 硫酸カリ20kg 追加。 ※有機醗酵肥料(ボカシ肥)を使う場合はチッソ成分4~6kg。 ※経験的に、 土壌pH: 5.5~6.0 が好適です。pHが異常な場合は地力作り時にもカルシウムを投入し調整して下さい。土壌pHを6.2以上にすると白色疫病が多発します。
(8月) 整地時	整地時に全面散布(植え溝を掘る前に)	畑のカルシウム (または カルテックCa粒状) 40kg ※土壌pHによって、どちらかを選択して下さい。
(8月) 植付け時	散水時に使用	濃縮酵素液 500倍 …初期の根を強くはたらかせ、生長を促進します。 ※通常は、植付け後半はこれ以外に施肥しません。 <u>萌芽期</u> には肥料分の吸収量が増えますが、 <u>地力と根の力で吸肥させるのが好適です。</u> ただし状態を観察して、根が弱ければ 酵素液 を灌水し、また地力不足なら 硫安20kg を追肥します。
(9月中旬) 秋の追肥	追肥 分球に必要なチッソの補給 (N過多だと双子形が増えるので注意)	硫安 30kg (20~40kg) 有機醗酵肥料なら、N成分で8kg程度。 ※必ず根を見て、悪ければ 濃縮酵素液 を使用して下さい。 ※カルシウム栄養が大切ですが、元に入れてあれば大体は不要。 ※一ヶ月後の <u>開花前</u> (10月中旬)にも普通は <u>開花時に栄養を与え、冬期を維持するための追肥</u> をしますが、状態を見て決めます。施す場合は、 硫安20kg と 畑のカルシウム20kg とを同時に。 ※ 土壌pH: 6.2以上では白色疫病が発生しやすいので注意。
(3月上旬) 春の追肥(1)	追肥 (中耕・土寄せ) 芽立ち・分球生長の促進	硫安 30kg + 畑のカルシウム 30kg (同時施用) ※根の強化のため 濃縮酵素液 が有効です。とくに効果的な使い方は土寄せ後、酵素液300~500倍液を灌水して根を伸ばし、その3日後に上記を表面に施肥して徐々に染込ませる事です。
(4月上旬) 春の追肥(2)	追肥 球の肥大・充実	硫安 30kg + 畑のカルシウム 30kg (同時施用) ※根が強いことが大事です。 濃縮酵素液 を灌水または葉面散布。 ※ チッソ過多だと球が細長くなるので、ECに注意して下さい。
(5月上旬) 仕上げ	(掘取り20日前頃) 葉面散布	カルテックCa液状500倍 …球を充実させ、光沢・首のシマリを向上。腐敗を防止。 ※生育不良・葉枯れの場合は 濃縮酵素液500倍 葉面散布。

★上記はらくだ系品種(分球6~9個、大球)の基準です。分球の多い品種の場合、秋の追肥にカルシウム20kgを加えて下さい。